

中央線沿線・高柄山733m（2月の訓練山行！？）

齊藤 整紀

- 2018年2月17日（土） 晴れ
- メンバー 横堀、西正子、松田、嶋田、白井、
齊藤整（CL）
- コースタイム

JR中央線・四方津駅 9:30→大丸 10:20→高柄山（昼食）12:30~13:00→新矢ノ根峠 14:30→鶴島のムクノキ 15:20→15:45JR上野原駅

山行企画係の要請を受けて、2月の低山ハイクの企画は、中央線沿線でバス等を使わないルートとして、「低山ながら歩き応え十分の山梨百名山」とのサブタイトルを持つ高柄山に決めた。

晴天下、JR中央線上野原駅から四方津駅までの車窓からの高柄山周辺の山並みは、地味で平凡。

四方津駅には、横堀氏20分着の電車を待って6人全員集合、予定通り9時半に出発。道標はさすが山梨百名山、分かり易い。川合橋を渡り、川合集落を抜けて、まず大丸のピークを目指す。北面には氷雪が残っており、安全を期して軽アイゼンを装着。小ピーク、アップダウンがいくつも続き、舗道とクロスする新大地峠手前のベンチで休憩後、ようやく大丸に至る。大菩薩の白い峰が望める。



次に目指す高柄山は、これまた嫌になる程、ニセピークに翻弄され、上り下りを繰り返した挙句、ようやく祠のあるピークへ到着。南側の丹沢方面が綺麗で、反対の北側には、樹間から扇山を望む。



以後も、これでもか、これでもかとタフな上下を繰り返す。トラバース路は痩せて、雪が付いて、気が抜けない箇所もある。また強い風の尾根も要注意！新矢ノ根峠の北側に大岳山などの展望を最後に、ゴルフ場造成のため付け替えられたという粗末な径の登降に耐え、ようやく林道に下り、厳しいハイクから開放された。「鶴島のムクノキ」という樹齢700年の古木を通り、新装の上野原駅に着いた。



これまでの山行は、名のあるピークに向かって合理的な登下山道がついているのが一般的で、今回のように、これといったピークもないまま、何度も登降を繰り返す、いわゆる、訓練的な山は珍しい。アップダウンのある6時間の歩程、雪の付いたトラバース路、強風の尾根歩き等この時期としては十分訓練になったと見えて、メンバーは皆、満足したようだ。最後は、国分寺で、「目に山並み、心に友情、手にビール、乾杯！」（了）